

# 高槻地区保護司会だより

〔事務局〕 高槻市社会福祉協議会内  
〒569-0065 高槻市城西町4番6号  
☎ (072) 674-7684  
〔責任者〕 高槻地区保護司会  
会長 松本 大  
〔編集〕 広報部



人はみな  
生かされて  
生きてゆく  
更生保護ネットワーク

主唱 / 法務省



一人になるのが嫌だった。  
孤立するのが怖かった。  
誰かといないと、不安に押しつぶされそうで。  
仲間たちに誘われた時、断れなかった。  
自分にとっては唯一で、大切なものだったから、  
歪な繋がりになりつづいた。  
この街に帰ってきて一年。  
色んな人に囲まれて、いま、自分は働いている。

元気がないと気づいてくれる食堂のおばちゃん。  
失敗を笑い飛ばしてくれる先輩。  
仕事の楽しさも厳しさも教えてくれる社長。  
自分が罪を犯しても、見捨てなかった幼馴染。  
たくさんの顔が思い浮かぶ。  
それにすぐく、嬉しくなった。  
一人でなんでもできるようになることだけが  
自立じゃない。  
困ったら、誰かを頼ったっていい。  
きちんと一人、でも孤独じゃない。

## #生きづらさを 生きていく。

### 第73回 “社会を明るくする運動” ～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～ 「#生きづらさを生きていく」というメイン・コピーに基づき、誰もが生き生きと暮らせるコミュニティづくりを目指して運動を進めていきます。

#### ◆オープニングパレード

・とき 7月1日(土) 17:00～18:00  
高槻市総合センター前において開会セレモニーの後、高槻市消防音楽隊の先導によりけやき通りをパレード、その後JR高槻駅北側アクアモーレプロムナードステージで同音楽隊の演奏があります。

#### ◆更生保護茶会・矯正施設等作品展示即売会 (主催 高槻地区更生保護女性会)

・とき 7月8日(土) 10:00～15:00  
・ところ ホテルアベストグランデ高槻  
更生保護女性会の皆さんによるお茶会が催されます。即売会は矯正施設入所者および女性会会員の心のこもった手作りの作品を販売します。

#### ◆中央集会

・とき 7月2日(日) 13:30～16:00 (開場13:00)  
・ところ 高槻市立生涯学習センター2階多目的ホール  
・講演 児童虐待防止機構オレンジCAPO  
理事長 島田妙子さん  
「虐待の淵を生き抜いて」  
～大人も元気で子どもも元気～  
・演奏 高槻市立冠中学校ブラスバンド部

#### ◆“社会を明るくする運動” 地域集会の開催

7月は強調月間として、高槻・島本の各地域の学校や関係団体の協力を得て地域集会や講演会、コンサート等を開催し、啓発・交流を深めます。



【1面】	第73回 “社会を明るくする運動”
【2面】	“社会を明るくする運動” によせて 高槻市長 濱田剛史 ・ 退任挨拶 人事消息
【3面】	会議の開催 ・ チャリティゴルフ
【4面】	会員文芸欄 ・ あとがき

#### — 私の保護観察日記 —

##### 初めての保護観察

富田・阿武野地区

岸田 勝彦

不安と緊張の中、背伸びせず、自分自身のスタイルで接するという気持ちで始めました。  
初回の面談、今でも覚えていています。どうして罪を犯してしまったのかと考えるほど真面目で気遣いが出る方でした。しかし、精神的に不安定な

状態で、来訪と通院以外は、ほとんど家から出られないとのこと。これは厳しい。  
少しずつ無理のないように公共交通機関を利用して外出の範囲を広げることが目標にして支援をしていきました。  
その後も対象者は、何度もそう状態とうつ状態が続きましたが、クリニックや医療機関と連携を取りながら、対象者の心情に寄り添い、気持ちの安定を図ることを第一に支援をしてきました。

一番不安に感じていた就労は、対象者の強みが生かせる職場をハローワークで探し、勤務時間の調整等を行いました。そして保護観察期間が終わる頃には、無事就労できました。今後の人生を幸せに歩んでほしいと願っています。  
対象者に寄り添い同じ視線で過ごした5年間。初心を忘れずに、これからも更生保護活動に努めていきたいと思っています。

#### — 随筆 —

##### 「心を柔軟に」

芥川・清水・櫻田地区

當麻 円純

私は少年の担当をする時に「しっかりして欲しい」という気持ちと「常に心を柔軟にして欲しい」という気持ちがあります。面接に来る少年たちはよく「頑張ってます」と口癖のように話を聞かします。その言葉を聞く

度に緊張した心の糸はそのままだと切れてしまうし、緩めることも大事だと思ってしまうのです。そんな少年たちには、小さくてもいいから自分の楽しみを持ちながら生活することを勧めています。  
ある方が話の出来なくなってきた要介護の母親と毎日たくさん話をしていると書いていました。どうしてだろうとその文章を読んでみると母親にすり潰してはああるけれど季節の野菜や果物を口に入れ

ながら「お母さん、カボチャが美味しい季節になりました」「今年のスイカもよく出来ていますよ」と話しかけるのです。私たちは話が出来なくなったら、もう会話は成り立たないと思います。この方は食べ物を通して自然に母親との会話をしていたのだと思います。  
私はこの方のように人生のいろいろな場面で柔軟に考えられたらと常々考えています。

### あ と が き

ゴールデンウィークが終わり、新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザと同じ5類に移りました。コロナ禍が終わったとばかりに喜んでいいのでしょうか。コロナの第9波が近づいているとの話もあります。しかし、国の支援を受けて旅に出ようとは思っています。(松)

自分の好きな芸能人やスポーツ選手、アニメキャラクターなどを熱心に応援し、日々の生活における活力や潤いを得る「推し活」が盛んで時代のキーワードとなりつつある。人はなぜ、誰かを推さずにはいられないのか。「推す」「推される」の関係性の中で生まれるのは何なのか？ 人生にもたらす「力」は大きいような気がする。最近の流行は目まぐるしく変わる時世になったものだと感心する！(竹)

ちょっと季節は過ぎましたが、田植えの前、準備のために草刈機を肩に担いで田圃に行く、後ろから小鳥たち5羽ほど、トコトコと畦道をついてきます。さあ、エンジンをかけて刃先を草に向けて、そこから50cmほど近くまで寄ってきて、刈り取った草の近くで虫を捕っているのか、一生懸命つぶんで、刃先には気もくれず、こちらが手を出そうと逃げの気配もありません。たまにこちらをじっくり覗きます。……田圃のまわり一周、小一時間、ちょっと仲良くなれた気分です。(岩)

### 『保護司会だより』会員文芸欄等の 原稿を募集しています

— 投稿大歓迎!! —

作品の内容は自由ですが、会紙の性格上「更生保護活動」にかかわるものを期待します。

- \*短文(随想・寸評・意見など、400字まで)
- \*詩歌(詩・短歌・俳句・川柳・標語など)
- \*その他自由作品(原稿締切りは、5・8・11・2月末。事務局まで)

蓮の花写生してある山の池 老い耄れや一季抜かして更衣 名誉会員 緋田正俊	一日の仕事の疲れ夕牡丹 睨まれてびっくり夜の武者人形 松本大	ききよう歌壇 ストレスが体に悪いと聞いてから なんでもかでもみなひとまかせ それくらい俺に言わずにおまえやれ テレビ見ている暇があったら 愚狂人
--	--------------------------------------	---



第73回  
“社会を明るくする運動”によせて

高槻・島本地区社会を明るくする運動  
推進委員会委員長 高槻市長

濱田 剛史

今回で73回目を迎えました“社会を明るくする運動”は、～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～を標語として、毎年7月の強調月間を中心に実施される全国的な啓発活動です。保護司の皆様や関係者の皆様には、犯罪や非行の防止、また犯罪や非行をした人たちへの更生保護活動を通じて、犯罪や非行のない明るい社会を築こうと日頃よりご尽力いただいております。改めて感謝申し上げます。

さて近年、住民のつながりや連帯意識の希薄化が進むことに加え、ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の影響により住民同士の触れ合う機会が制約される中、望まない孤独や社会的孤立といった言葉を頻繁に耳にするようになり、地域では、様々な「生きづらさ」を抱えておられる方が少なくありません。このような中、犯罪や非行をし

た人の生きづらさを我が事として捉え、再出発を図ろうとする人を地域社会で受け入れ、立ち直りを支えていこうとする本運動の社会的意義は、大変大きいものと認識しております。

本市としましても、誰もが安心して暮らせるまちを目指して、“社会を明るくする運動”をはじめ、犯罪や非行をした人の抱える「生きづらさ」に寄り添った地域づくりに努めるとともに、「やり直せる社会」づくりに向けた社会復帰支援の取組についても、高槻地区保護司会の皆様との密接な連携のもと進めてまいりたいと考えておりますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。



社会を明るくする運動推進委員会

退任のごあいさつ

三箇牧・如是地区 時永 美恵子

平成15年5月、新緑のさわやかな季節に保護司を拝命いたし特例再任保護司を含め20年間更生保護活動に携わってまいりました。

新任研修で、「保護司は対象者の話をよく聞くことが大事」の言葉があり、面接時には些細なことにも真剣に耳を傾けようと決心し、対象者には後ろを振りむかず「今からスタートでいい。今から歩み始めればいい」と伝えてきました。

長い歲月関わってきた数だけ想いがあり、涙あり、笑いあり、別れがありました。今振り返りますと、対象者やその家族の方々が懐かしく想いだされ、元気で幸せに暮らしていることを願いつつ……。

また新緑のさわやかな季節に退任となりました。保護司としていろんな方々に接する機会があり、沢山学ばせていただき心より感謝申し上げます。

皆様の益々のご活躍をお祈りいたします。

人事消息 (敬称略)

〔退任〕……………令和5年2月28日付  
(三箇牧・如是地区) 鷺尾 啓久

〔特例退任〕……………令和5年5月24日付  
(芥川・清水・檜田地区) 野間 英雄  
(三箇牧・如是地区) 時永 美恵子

訃報

名誉会員 松井重雄様 (86歳) が去る4月4日逝去されました。ここに生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。



会議の開催

- ◆高槻・島本更生保護振興会総会  
とき 令和5年4月12日(水) 14:30～  
ところ 高槻市地域福祉会館3階 研修室
- ◆高槻地区保護司会総会  
とき 令和5年4月12日(水) 15:30～  
ところ 高槻市地域福祉会館3階 研修室
- ◆高槻・島本地区協力雇用主会総会  
とき 令和5年4月22日(土) 18:00～  
ところ 高槻市立生涯学習センター3階 第一会議室
- ◆高槻・島本地区  
社会を明るくする運動推進委員会  
とき 令和5年5月19日(金) 14:00～  
ところ 高槻市地域福祉会館3階 研修室



高槻地区保護司会総会

地区別保護司数 (令和5年6月1日現在)

[高槻保護区] 定数 100名			
保護司 会員数	在籍数		75名
	地区 会別	高槻・大冠	12名
		芥川・清水・檜田	12名
		富田・阿武野	13名
		五領・磐手	13名
		三箇牧・如是	17名
島本	8名		

令和5・6年度高槻・島本更生保護振興会役員

会長	岡本悦子	西畑英明
副会長	目良恒郎	三俣玲子
会計	村尾雅嘉	吉村光子
監査	水真龍次	當麻円純
幹事	梅木市三郎	福岡章良
	岩城外志雄	野村行良
	松田功次	近澤捷治
顧問	入矢美與子	

チャリティゴルフ

今年は5月18日(木)に飛鳥カントリー倶楽部で開催され、高槻からは7人(2チーム)が参加しました。

全体では113人33チームでしたが、その中高槻は個人で優勝、5位、ニヤピン賞、そして団体でも優勝とブービー賞を獲得しました。



7月は“社会を明るくする運動”  
強調月間・  
再犯防止啓発月間です

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くための全国的な運動です。



“社会を明るくする運動”に参加しよう!

- 更生保護についてもっと知りたい方は  
法務省 更生保護
- お問い合わせはお近くの保護観察所まで  
保護観察所
- 更生保護ボランティアについては  
更生保護ネットワーク

